

特別講演 2

「心房細動の抗凝固療法

～私が考える、NOACの選択価値基準～」

福井大学医学部 循環器内科学 教授

多田 浩 先生

心房細動の治療には、従来ワーファリンが主流となっていました。NOAC（新規経口抗凝固薬）登場により、その治療指針も大きく変わってきました。特に、2014年3月より「アピキサバン」の長期処方が可能となり、その選択肢が多くなりました。しかし、「どの薬剤を選ぶか？」というのは、大きな問題であるとともに、治療を進めて行く上でも、重要な課題と考えられます。

今回の講演では、私の使用経験も含め、「どのような患者に抗凝固療法を行うか、そしてその際にどの薬剤を選択するか」を分かりやすく紹介したいと思います。